

令和8年度 6月号

めいか

令和8年5月29日
文京区立明化幼稚園

たくましい幼児の育成

副園長 山下 美幸

幼稚園玄関前の紫陽花の花が少しずつ色づき始め、季節の移り変わりを感じる頃となりました。園内には毎日、子どもたちの元気な声が響いています。

5月末日には年長組の指導研究があり、年中・年少組の保護者の皆様には、登園時間の変更のご協力をいただきました。ありがとうございました。指導研究では、他学年の教員が遊びの様子を見ながら、記録を取り、協議会を行います。また、当日は講師の先生を招聘し、全学級の子どもたちの姿や保育について丁寧にご指導をいただきます。日々の保育を見つめ直し、幼児理解を深め、教員の学びと資質向上となる機会となっています。

今年度、教育目標の重点である「たくましい子ども」から、園内研究の主題を「たくましい幼児の育成」として進めています。現在、園庭工事により、体を動かして遊ぶ場が限られている状況ですが、その中でも子どもたちが思わず体を動かしたくなる、自ら挑戦したくなるように園内の空間や環境を工夫しているところです。5月から、年長・年中組の子どもたちが旧湯島幼稚園の園庭で遊び始め、雲ていやジャングルジム、砂場遊びを楽しんでいます。翌日、園内では、年長組が湯島園舎の固定遊具を再現するかのように、ホールに巧技台を使って場を作り、「どうやって渡ろうかな」「ここをジャンプしてみよう」など遊び方を工夫したり、友達の姿から刺激を受けて、まねしたり、挑戦したりする姿が見られています。最初は難しくておぼつかない姿もありましたが、繰り返し取り組む中で「できた!」と自分なりに実感し、喜びを感じることで、自信やさらなる挑戦意欲につながっていきます。「たくましい幼児」にある「たくましさ」とは、単に体力があることだけではなく、自分でやってみようとする気持ちや、うまくいかなくても諦めずに挑戦する力、友達と関わりながら考えたり工夫したりする姿なども含まれています。子どもたちは遊びの中で、たくさん考え、試し、失敗しながら成長しています。

これからも、一人一人の「やってみたい」という思いを大切にしながら、挑戦したり、最後まで諦めずに取り組んだりできるよう環境を整えていきたいと思えます。ご家庭でも、子どもたちの小さな挑戦や頑張りを温かく見守っていただければ幸いです。

